

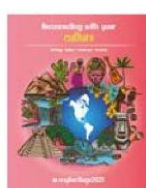
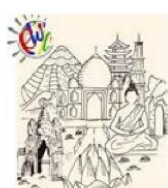
“一歩ずつ進んでいこう。皆でつくろう、皆のために”

# RECONNECTING WITH YOUR CULTURE

の教育理念をより深く理解していただくためのガイドライン



監修：アナ・セシリア・フローレス／パロスカ・ブラーヴォ・ヴァスケス



Organisation  
des Nations Unies  
pour l'éducation,  
science et la culture



UNESCO Chair  
Forum University  
and Heritage



UNIVERSITAT  
POLITÀCNICA  
DE VALÈNCIA



edA  
Esempi di Architettura  
International Research Center

EdA | Esempi di Architettura ISSN 2035-7982

March 2022

**RWYCインターナショナル代表**  
ニリオ・ソリエンテ・オリンピア教授

**名誉会長**  
シェーファー、D.ポール（世界文化プロジェクト）

**アフリカRWYC学術委員会**  
会長：アキントウンデ、ソーラ、ザフラ・サリフ、ファティマ

**アメリカRWYC学術委員会**  
会長：コルメネロ、ファビオラ、エケヴェリー、ケビン・アレクサンダー

**アジアRWYC学術委員会**  
会長：ミスラ、アディティ、シン、ラナP.B.

#### RWYC教育理念について



#### RWYC教育理念について

**編集コーディネーター／文字**  
ブラーヴォ・ヴァスケス、バロスカ  
フローレス・オルティス、アナ・セシリア

**校正**  
ロドリゲス・コントレラス、サラ  
**イラスト**  
オチョア・ゴンサレス、ルイス・フェルナンド  
**エディトリアルデザイン**  
ガルシア・コレア、レハイネル・ビクトリア  
**デジタルドキュメントのアクセシビリティ**  
ドミンゲス・ガルシア、ルルド

**日本語翻訳**  
片桐亜古



RHAYNEL  VICTORIA

## 文化を通して旅をする人生

自分自身を発見する旅に幾多の困難はつきものです。それらの困難から逃れようとするのではなく、それらに対し忍耐強く対峙していく必要があります。自分が選んだ道を信じ、進みましょう。人生の岐路において他の人があなたのために決定を下そうすること、あなた自身の夢の実現に介入してくることがあるかもしれません。されるがままになってはいけません。古い慣習や偏見に囚われないこと、自分を変えていく勇気を持ち、自身の考えに固執せず様々な視点からこの世界を捉える柔軟性と勇気をもつことが大切です。プロジェクトが大きな規模のものである場合、その成功はこれに関わるスタッフ一人一人がよりいっそうの成長を目指し自身を鍛錬し続けられるか否かにかかっています。

あなたがこの世に生まれた瞬間からそれは始まっています。家族や学校、社会のおかげであなたは生きるために大切なスキルを習得することができました。生きる上で良き活路を見出し続ける、必要とあれば切り開くことが可能なのもこのスキルのおかげといえます。

さあ、旅を始めましょう。あなたもその一員である共同体のために何を実現したいのか、次世代の人々に何を残せるかを日々考えながら。平凡な毎日に身を委ねることが価値のあることでしょうか。人類のため向上心を常に抱き、構築的な目標を設定しましょう。

国際社会と足並みを揃え、自身が担う文化に敬意と感謝の念をもって接することのできる社会を築こうとしているあなた。創造性と批判的な思考がこの旅における大切な友としてあなたに常に寄り添ってくれることでしょうか。文化遺産をめぐる素敵な旅を楽しんでください。

オリンピック・ニリオ・ソリエンテ

東京、2021年11月

## なぜこのガイドラインが必要なのでしょう？

本ガイドラインは、どうすればReconnecting With Your Cultureの教育プロジェクトに参加できるのか知りたい、という各国の子供や青年の要望に応え作成されたものです。本ガイドラインは、子供達や若者達、先生方、また彼らの家族や彼らが住まう地域社会の人々が、Reconnecting With Your Cultureが提示する教育理念とその方針について段階を追って知ることができる構成になっています。また、誰でも読めば理解できるよう、わかりやすい表現を用いることを心がけました。

これを読んで頂けば、本教育理念の活用の仕方とプロジェクトへの参加方法について具体的なイメージを抱くことが可能になるでしょう。

## Reconnecting With Your Cultureとはどのような教育プログラムですか？

国際リサーチセンター Esempli di Architettura が UNESCO Forum University and Heritage と共に本教育プログラムの構想を練りました。本教育プログラムは世界中の小・中・高等学校を対象としたものです。

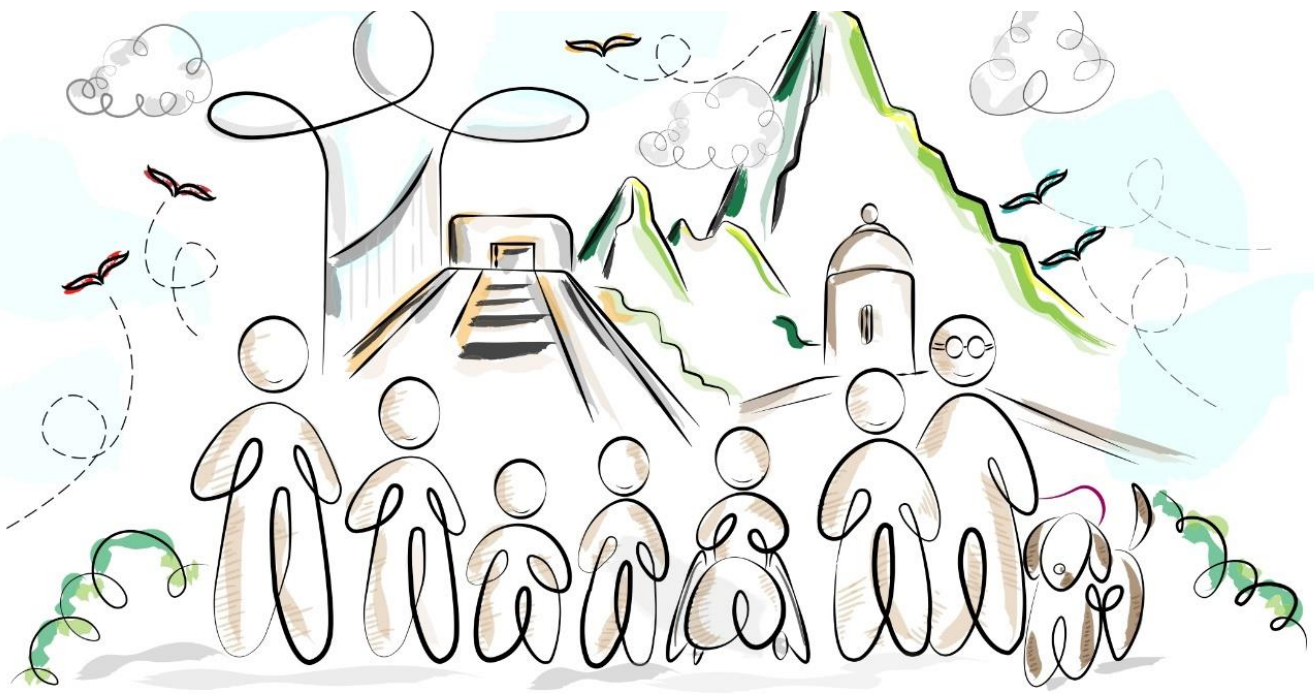
先生や両親、地域や教育機関の関係者の助けを借りながら子供や若者が文化遺産をめぐる自身の体験を絵にし、それを介して自身にとって身近な文化を他の文化圏の人々に伝えよう、というものです。

## Reconnecting With Your Cultureの目的は何ですか？

上記のような体験を通し若い世代の人々が文化の持つ価値に目覚めること、文化遺産をより身近なものと感じられるようになることです。それにより自分の住む地域に対するアイデンティティが確立されます。また、その地域にある文化遺産についての知識を深めるきっかけともなります。それが文化遺産の保護に貢献できる人間の養成の第一歩です。



# 文化遺産とは何でしょう？



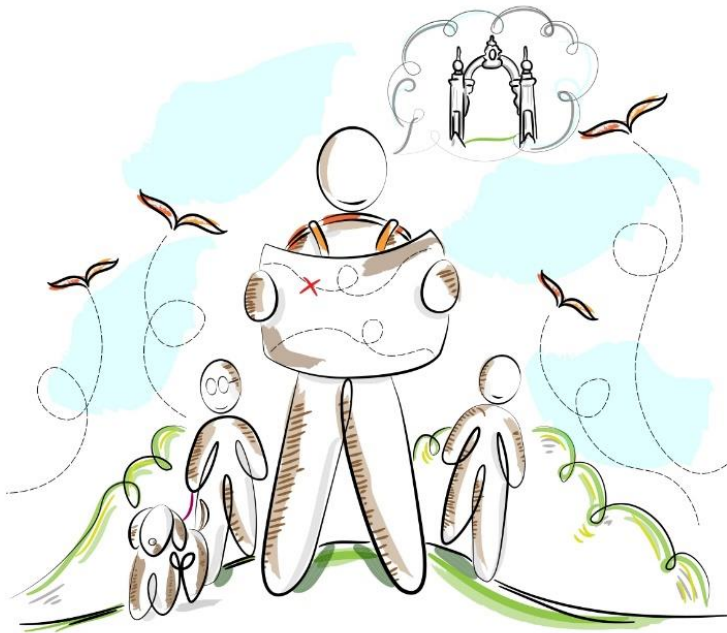
文化遺産がその社会における歴史的・文化的価値の体現であることは言うまでもありません。加えて文化遺産は記念碑的な意味合いも持ちます。また、それが生まれた時代・社会に生きた人々の思想・マニフェスト・活動が一体となったものでもあります。文化遺産は、人々と社会の文化的アイデンティティを体現したものとと言えます。

文化遺産は、有形遺産と無形遺産に分類されます。有形遺産は歴史的・芸術的・文化的価値を持つ建物やモニュメントを指します。これらは既存の、またはすでに消滅してしまった社会や文明の証です。この種の文化遺産として、建造物・教会・城や城郭・遺跡・彫刻・絵画・道具・書籍・文書・古い写真などを挙げることができます。一方、無形遺産とは。表現、知識、地域の文化を体現するような人々の精神的活動とその所産を指します。祭儀・ダンス・伝説・歌や唄・伝統・その土地特有の食べ物などを挙げることができます。



このプロジェクトに参加するにあたっての条件を教えてください。

幼稚園・小・中・高等学校に通う、5歳から17歳までの子供と若者が対象です。参加は無料です。



参加方法を教えてください。

自分にとっての宝物を見つける旅を計画し、実行し、その体験を絵にしましょう。

## Reconnecting With Your Culture は以下三つのステップに基づきプロジェクトを進めます

1



文化遺産・自分にとって歴史的な価値を持つ宝物を求め自分の街を旅する

2



見つけた宝物を絵にする

3



絵を通して自身の体験を人に伝える

以下、各ステップの具体的な実行方法を説明します

### 何をすれば良いの？

自分が隠れた宝物を見つける旅・冒険の主人公であると想像してみましよう。その宝物は、あなたが住まう共同体の文化遺産にもなることでしょう。あなたが冒険を始めるルートと場所を選択する際、必要があれば先生や教師、家族・友人にアドバイスを求めてみましょう。

## 第一のステップ

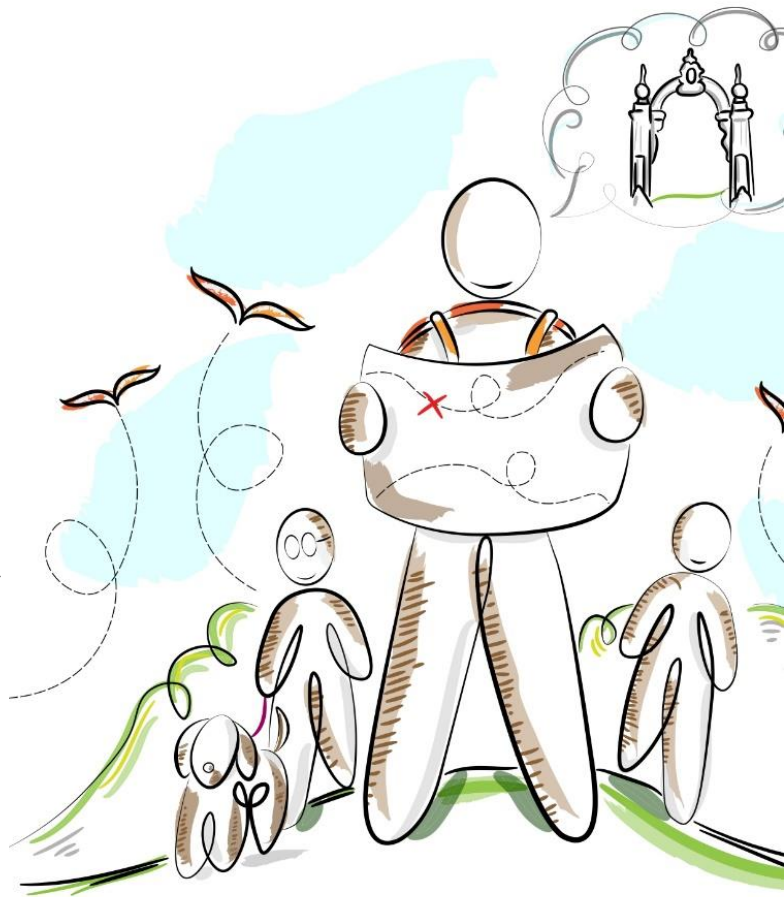
### 1 文化遺産・宝探しの下準備

どこに行くの？なぜそこに行くの？

あなたにとって身近な、そして大切だと思われる文化遺産を発見する旅の出発点として相応しい場所を一つ選んでください。冒険するルートや場所を選ぶ際、先生や家族、友人たちにアドバイスも求めても良いでしょう。あなたが選んだ場所の文化的な価値とそこで宝物を探すことが重要である理由について、先生に説明してもらえると良いですね。出発点として、家の近所の広場や公園、中心街、学校、博物館、寺院や神社を選ぶこともできます。あなた自身やあなたと一緒に冒険を楽しむ人にとってアクセスが容易で安全な場所であればどこでもOKです。

コロナウイルス対策を忘れないように。マスクを常に着用し、他の人と1.5メートル以上の距離を常に保ちましょう。

さあ、冒険の始まりです。

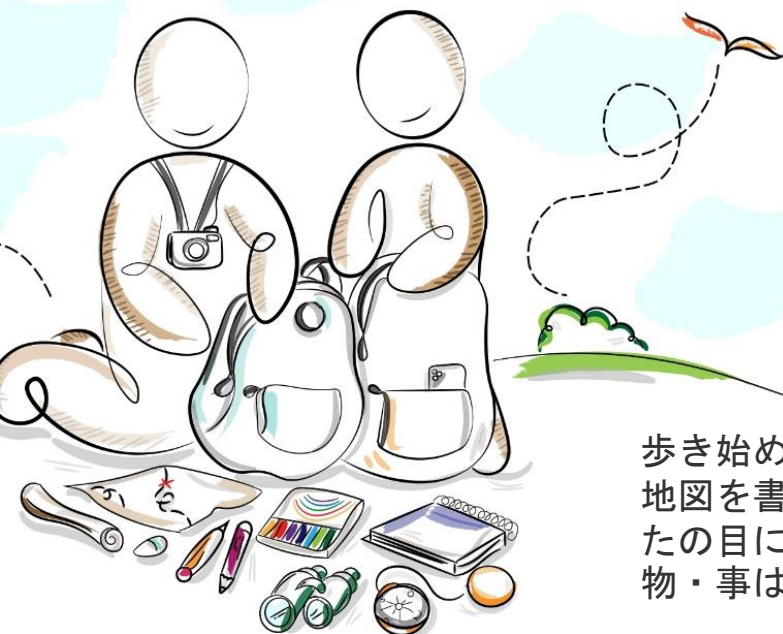


何を持っていけばよいの？

目的地を選んだら、旅・冒険のために必要な道具・荷物を準備しましょう。バッグもしくはリュックにそれらを詰め込みます。例えば、

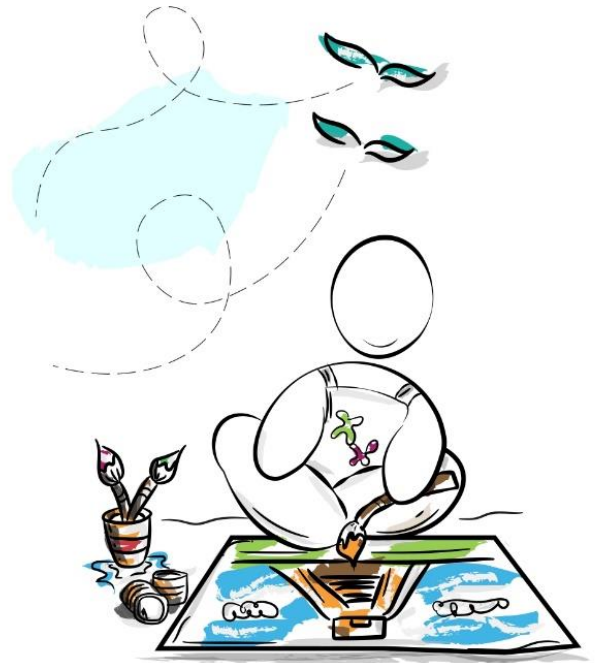
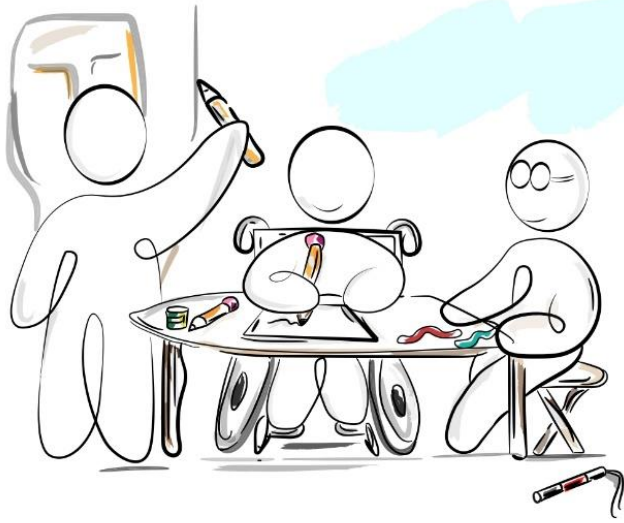
- 絵を描く道具、目的地を記した、カメラ、携帯電話、メモ帳、レコーダー
- 水分補給のための水のボトル・軽食やおやつ
- コロナウイルス感染症対策グッズ（マスクや消毒液等）

歩き始めたら、自分の好きなタイミングで地図を書いたり、スケッチをします。あなたの目に入ってくるもの、聞こえてくる物・事は皆、そこに書き記しましょう。





## 2 第二のステップ あなたの宝物を絵にしてみましょう



仲間と一緒に旅をすれば、歩くのがより楽しくなります。また、今まで行ったことのない場所を訪れるチャンス、人との出会いのチャンスも広がります。可能な限り乗り物は利用せず、できれば全て歩いて旅をしましょう。

あらかじめ準備した歩く予定のルートを書いた地図に、歩きながら見たり聞いたりしたもの、感じたこと、気にかかった出来事を書き込んでいきます。

あなたが見つけた歴史に関わるような出来事や人物に関する情報もメモ書きしておきましょう。これらはすべて、あなたがどのような道をたどり宝物に到達したのか他の人が知る良いヒントになります。

目的地に到着したら、あなたの宝物を絵に描き起こします。テクニックや素材、絵のサイズは自由です。宝物がどこにあるかをうまく描き出せない時は、自分の家や学校等、あなたにその場所を示してくれる人（先生や同行者）がいる場所でその人と共に絵を描きましょう。

あなたにとっての宝物・文化財がどのようなものかより詳しくわかるよう、メモや情報を添えます。文化遺産とは何か、なぜこの文化遺産を絵にしようと思ったのか考えながら、この作業をおこないましょう。

絵が完成したら、自分の氏名、住んでいる市区町村名および国名を裏面に書きます。絵のタイトルも考えてくださいね。

例)  
タイトルThe House of My  
Childhood (私が小さい頃に住  
んでいた家)  
氏名Yumi TANAKA  
市Osaka  
国Japan



## 第三のステップ

### 3 あなたの経験の共有

## Reconnecting With Your Cultureの担当者に作品の画像を送ります



あなたの体験を世界中の友達と共有する時が来ました。

自分の作品の画像をRWYCの担当者にメールで送ります。

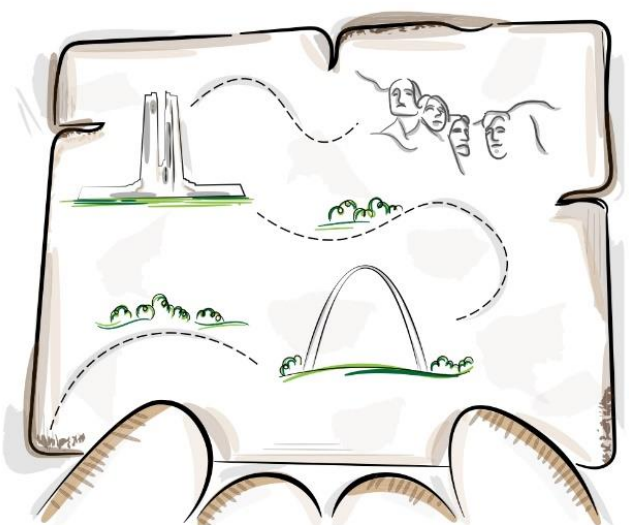
そのためにはまず、作品をスキャンするか写真に撮る必要がありますね。



メールで宝物を描いた絵の画像を送る際には、「宝物探しのためにあなたが描いた地図」も合わせて送る必要があります。

地図と絵を画像にする際は以下に注意してください。

- スキャン・写真いずれの場合も解像度を高くすること。さもないと画像がぼやけてしまいます
- 写真を撮る際、きれいに作品に照明が当たっているか、影がないか確認すること
- JPG形式で保存すること
- 地図および作品の画像の送信を学校がしてくれるのか、それとも自分で送信する必要があるのかを学校に事前に確認すること



## 画像をどこに送れば良いのですか？

作品および地図の画像は各国のRWYC事務局のメールアドレス宛に送ってください  
(メールアドレスは本ガイドライン末尾の一覧表を参照)。

メールの件名は以下のとおりです  
RWYC Drawings - 学校名 (市/国)

例)

RWYC Drawings – Higashi Elementary  
School (Osaka/Japan)

メール本文には以下の事項を必ず記載してください。

- 作品タイトル
- 作者の氏名・年齢
- 市町村名
- 国名
- 所属する学校名
- 連絡先メールアドレス

Reconnecting With Your Cultureは、文化遺産や宝物を見出す自身の体験を形にできるよう、またそれが新たな出会いのきっかけとなるよう、あなたの学校と連携しあなたをサポートしていきます。

さあ、宝物を探す旅を始めましょう。



## 各大陸・各国のRWYC事務局と代表者

### RWYC アフリカ

モロッコ/マグリブ/西アフリカ/サブ  
サハラアフリカ (マリ共和国・チャド  
共和国)  
ファティマ・ザフラ・サリフ  
[rwyc.morocco@gmail.com](mailto:rwyc.morocco@gmail.com)

### RWYC アメリア

ファビオラ・コルメネロ・フォンセカ  
/ケヴィン・A・エケヴェリー・B  
[rwyc.america@gmail.com](mailto:rwyc.america@gmail.com)

### アルゼンチン

シルヴィア・ソト (ダンテ・アリギ  
エーリ・スクール、コルドバ)  
[rwyc.argentina@gmail.com](mailto:rwyc.argentina@gmail.com)

### ボリビア

マッシモ・カザーリ  
[rwycbolivia.cer@gmail.com](mailto:rwycbolivia.cer@gmail.com)

### ブラジル

サンドラ・シュミット・ソスター  
[rwyc.brazil@gmail.com](mailto:rwyc.brazil@gmail.com)

### チリ

イヴォンヌ・メッラ・ヴィダル  
[rwyc.chile@gmail.com](mailto:rwyc.chile@gmail.com)

### コロンビア

ケヴィン・A・エケヴェリー B.  
[rwyc.colombia@gmail.com](mailto:rwyc.colombia@gmail.com)

### メキシコ

ファビオラ・コルメネロ・フォンセカ  
[rwyc.america@gmail.com](mailto:rwyc.america@gmail.com)

### ニカラグア

カセリン・トンプソン  
Kthompson84thompson@gmail.co  
m

### ペルー

パトリシア・バリオヌエヴォ  
[rwyc.peru@gmail.com](mailto:rwyc.peru@gmail.com)

### ウルグアイ

アドリアーナ・カレアガ  
[adricareaga@gmail.com](mailto:adricareaga@gmail.com)

### ベネズエラ

マルティザ・アクーニャ  
[rwycvzla@gmail.com](mailto:rwycvzla@gmail.com)

### RWYC アジア

#### インド

アディティ・ミスラ  
[aditi.misra@gmail.com](mailto:aditi.misra@gmail.com)  
ラーナ・P.B・シン  
[rana.RWYC.India@gmail.com](mailto:rana.RWYC.India@gmail.com)

#### インドネシア

ミラ・サルティカ  
[rwycindonesia@chakracultural.org](mailto:rwycindonesia@chakracultural.org)

#### 日本

片桐亜古  
[rwyc.japan@gmail.com](mailto:rwyc.japan@gmail.com)

### RWYC ヨーロッパ

#### フランス語圏

ファティマ・ザフラ・サリフ  
[rwyc.morocco@gmail.com](mailto:rwyc.morocco@gmail.com)

#### イタリア

マルチェロ・マルテーゼ  
[marcellodmaltese69@gmail.com](mailto:marcellodmaltese69@gmail.com)

#### スペイン

ルイス・パルメロ・イグレシアス  
[lpalmero@csa.upv.es](mailto:lpalmero@csa.upv.es)

### RWYC インターナショナル

[rwyc.international@gmail.com](mailto:rwyc.international@gmail.com)

UNESCO University and Heritage  
[forum@fuuh.upv.es](mailto:forum@fuuh.upv.es)



## 参考文献

- BLANCO-URIBE QUINTERO A. (2021)**, Cultura y derechos humanos, in “Culture Digitali”, n.0, settembre 2021  
<https://www.diculther.it/rivista/cultura-y-derechos-humanos/>
- BLANCO-URIBE QUINTERO A. (2021)**, Patrimonio, infancia, adolescencia y derechos humanos, in “Dialoghi Mediterranei”, Vol 47, n.1., Gennaio.  
<http://www.istitutoeuroarabo.it/DM/patrimonio-infancia-adolescencia-y-derechos-humanos/>
- BLANCO-URIBE A.; ECHEVERRY K., NIGLIO SORIENTE O. (2021)**, Hacia una educación humanista. Conocer el patrimonio cultural para rediseñar el futuro, in Actas VII Congreso de Ciencia y Arte del Paisaje 2020, Guadalajara, Jalisco, Octubre 2020. Libro: Horizontes y Perspectivas del Paisaje, ACAMPA Academia Mexicana del Paisaje, pp. 367-381, Ciudad de México.
- ECHEVERRY K., NIGLIO SORIENTE O. (2020)**, RECONÉCTATE CON TU CULTURA, Proyecto internacional sobre el patrimonio cultural para los niños, las niñas y los jóvenes, in ATULAA, Ministerio de la Cultura, Colombia, Octubre, ISBN 2744-8681, pp. 13-15.
- NIGLIO O. (2021)**. Towards a Humanist Education: Understanding Cultural Heritage to Redesign the Future. IN “Academia Letters”, Article 3223. <https://doi.org/10.20935/AL3223>.
- NIGLIO O. (2021)**, Reconnecting with your culture.... Un anno dopo, in “Incontri”, Vol. 50, luglio, pp. 13-15.
- NIGLIO O. (2021)**, La cultura al centro del dialogo per lo sviluppo del mondo, in “Incontri”, Vol. 49, giugno 2021, pp. 10-11.
- NIGLIO O. (2021)**, La Cultura e la lingua, patrimoni inalienabili delle Comunità, in “Dialoghi Mediterranei”, n°49, Maggio 2021.  
<http://www.istitutoeuroarabo.it/DM/la-cultura-e-la-lingua-patrimoni-inalienabili-delle-comunita/#more-43082>
- NIGLIO O. (2020)**, Reconnecting with your Culture, in “Incontri”, Vol. 50, settembre 2020, pp. 12-13.
- NIGLIO SORIENTE O., ECHEVERRY BUCURÚ K. (2021)**, Reconnecting with your Culture: La Scuola del Mondo. Verso una Nuova Ecologia Educativa, in “Dialoghi Mediterranei”, Vol 47, n.1., Gennaio 2021 [online]  
<http://www.istitutoeuroarabo.it/DM/reconnecting-with-your-culture-la-scuola-del-mondo-verso-una-nuova-ecologia-educativa/>
- NIGLIO O., SCHAFFER D.P. (2021)**, Tokyo charter. Reconnecting with your culture. Education, culture, heritage, and children, in “Dialoghi Mediterranei”, n°52, November  
<http://www.istitutoeuroarabo.it/DM/tokyo-charter-reconnecting-with-your-culture-education-culture-heritage-and-children/#more-48399>
- NIGLIO O., SCHAFFER D.P. (2021)**, Carta di Tokyo. Riconnettersi con la propria cultura. Educazione, cultura, patrimonio e giovane generazione, in “Culture Digitali”, n.1, Settembre-Ottobre.
- NIGLIO O., SCHAFFER D.P. (2021)**, Tokyo Charter. Reconnecting with your culture. Education, Culture, Heritage and Children, IN “EdA Esempi di Architettura”, Vol.2. August, 2021  
[http://www.esempiarchitettura.it/sito/journal\\_pdf/PDF%202021/15.%20TOKYO%20CHARTER%20EDUCATION\\_2021.pdf](http://www.esempiarchitettura.it/sito/journal_pdf/PDF%202021/15.%20TOKYO%20CHARTER%20EDUCATION_2021.pdf)
- SCHAFFER D.P. (2021)**, The Culturescape: Self-Awareness of Communities, in “Dialoghi Mediterranei”, Vol 48, n.1., Marzo.  
<http://www.istitutoeuroarabo.it/DM/the-culturescape-self-awareness-of-communities/#more-41201>



